

	対象範囲	2020年度			2021年度目標 <sup>※1</sup>
		目標	実績	評価	
地球温暖化防止	国内 クラレ グループ	【GHG <sup>※2</sup> 排出量削減対策量】 13千トン-CO <sub>2</sub> 以上（対前年度比）	【GHG排出量削減対策量】 14千トン-CO <sub>2</sub> (対前年度比)	☆☆	【GHG排出量削減対策量】 13千トン-CO <sub>2</sub> 以上(対前年度比)
		【GHG排出原単位指数】 対前年比1%以上の向上	【GHG排出原単位指数】 対前年比14.3%の減少	☆	【GHG排出原単位指数】 対前年比1%以上の向上
	海外 クラレ グループ	【エネルギー <sup>※3</sup> 原単位指数】 対前年比1%以上の向上	【エネルギー原単位指数】 対前年比0.2%の向上	☆	【エネルギー原単位指数】 対前年比1%以上の向上
排出物質の 管理	国内 クラレ グループ	【日化協PRTR物質排出量】 2016年度実績値(957トン) 未満に管理	【日化協PRTR物質排出量】 805トン	☆☆☆	【日化協PRTR物質排出量】 2016年度実績値(957トン) 未満に管理
	海外 クラレ グループ	-	-	-	海外生産拠点各国・地域の 化学物質排出規制を 遵守するとともに、 定量管理を継続する。
廃棄物の 有効利用	国内 クラレ グループ	【廃棄物の発生量削減対策量】 2016年度発生量の 1%相当分(900トン)以上	【廃棄物の発生量削減対策量】 2,486トン	☆☆☆	【廃棄物の発生量削減対策量】 2016年度発生量の 1%相当分(900トン)以上
		【埋立処分量】 2016年度実績値(251トン) 未満に管理	【埋立処分量】 616トン	☆	【埋立処分量】 2016年度実績値(251トン) 未満に管理
	海外 クラレ グループ	-	-	-	海外生産拠点各国・地域の 法的要求事項を遵守するとともに、 廃棄物発生量の削減、 定量管理を継続する。
有効資源の 利用	国内 クラレ グループ	-	-	-	国内クラレグループの 立地条件に鑑み、当面は 数値目標の設定はしないが、 できる限りの節水に努めながら 水使用量の定量管理を継続する。
	海外 クラレ グループ	【水（海水除く）原単位指数】 対前年比1%以上の向上	【水（海水除く）原単位指数】 対前年比4.6%の減少	☆	【水（海水除く）原単位指数】 対前年比1%以上の向上

※1) 次期環境中期計画の開始年度を2022年度に変更し、2021年度目標は、単年度目標として設定しました。

※2) 温室効果ガス（Greenhouse Gas）

※3) 海外クラレグループでは電力・蒸気のほとんどを外部購入しています。温室効果ガス排出量は供給元の影響（排出係数）を大きく受けることから、海外クラレグループの環境保全活動を適正に評価するため、供給元の影響を受けない「エネルギー使用量」で評価することとしています。